



つるい 系内涼まつり



7月24日、総合センター前庭にて「つるい納涼まつり」が開催されました。小雨が降る天候となりましたが、村内外から多くの飲食店が出店し、会場はたくさんの来場者で賑わいました。

今年は、Brasserie Knotのクラフトビールを用いた「ききビール選手権」や「アームレスリングNO.1決定戦」が行われ、老若男女を問わず会場は大盛り上がり。また、鶴居村出身の田中永真さんが所属するお笑いコンビ「まんじゅう大帝国」による凱旋漫才では、観客との軽妙なやりとりもあり、会場は終始温かな笑いに包まれました。まんじゅう大帝国の凱旋漫才の一部は左記QRコードよりご覧いただけます。



釧路湿原保全事業「外来生物バスターズ」開催

8月1日、温根内ビジターセンター周辺で釧路湿原保全事業「外来生物バスターズ」を実施しました。

本事業は湿原への関心を深め環境保全に貢献することを目的に、教育委員会が令和3年度から実施しています。今年度は村内教職員の研修を兼ねて開催し、合計10名が参加しました。開催にあたっては、環境省釧路自然環境事務所や温根内ビジターセンターにご協力いただきました。

今回は、特定外来生物に指定されている「ウチダザリガニ」の駆除活動を実施しました。活動前のレクチャーでは、人の都合で持ち込まれた外来生物が在来生物に悪影響を与えてしまうこと、特定外来生物は生きたまま移動させることができないこと、一方で外来生物自体が悪者ではないなど、問題点や大切な考え方を学びました。

駆除活動では、手製の釣り竿を使用しました。当日は雨上がりの低温によりザリガニの動きが鈍かったものの、前日に仕掛けた罠には10匹以上が入っており、大いに盛り上がりました。子どもたちは、ザリガニが釣れないながらも網で小魚を捕まえるなど、楽しんでいる姿が印象的でした。捕獲したザリガニは、その場で適切に処理を施した後、ビジターセンターへ持ち帰り、塩ゆでにしておいしく試食しました。午後は、教員研修参加者を対象に環境省の自然保護官のガイドで温根内木道を散策しました。湿原の成り立ちや動植物の魅力を学びながらの観察会となり、教職員一同、釧路湿原の豊かな自然を改めて満喫する充実した一日となりました。



令和8年度二町村交流ネイチャーアドベンチャー

8月5日～8月7日までの3日間、ネイバル厚岸にて二町村交流ネイチャーアドベンチャーを実施し、本村からは、4年生以上のわんぱくアドベンチャークラブ団員を対象として2名、標茶町の児童やボランティアスタッフを合わせて合計27名が参加しました。

本事業は、長期休暇を利用し標茶町の子どもたちと様々な体験や自然活動を通して、交流を深めることを目的としています。また、他市町村との広域的な連携を図って実施しています。

今年度は、例年より1泊少ない2泊3日での行程となりましたが、ワックスボール（キャンドルのようなもの）づくりや愛冠岬探勝、キャンプファイヤーなど厚岸町の豊かな自然や環境を利用した体験活動を行い、参加者は班で協力しながら楽しく活動していました。

標茶高校の高校生スタッフにも、アイスブレイクの運営や日常生活の見回りなどに協力していただき、3日間を通して有意義な交流事業となりました。来年度も、ネイバル厚岸で開催する予定としており、興味を持った方は、ぜひご参加ください。

大地みらい信用金庫様より寄附金の贈呈

このたび、大地みらい信用金庫様が2026年5月10日に創立110周年を迎えられました。その記念事業の一環として、7月8日に100万円のご寄附をいただきました。

同金庫は根室・釧路管内や札幌圏を事業区域とし、相互扶助の理念のもと地域経済や住民生活を支えてこられました。さらに、地域社会の活性化や環境、教育などの分野でも広く貢献されています。

いただいたご寄附は、釧路湿原をはじめとする本村の豊かな自然環境の保全活動などに活用させていただきます。このたびの温かいご厚意に対し、深く感謝申し上げます。



東士長が全道救助技術大会で1位！

7月18日、札幌市消防学校で開催された「第54回全道消防救助技術訓練指導会」において、釧路北部消防事務組合鶴居消防署の東 康太郎士長が、ロープブリッジ渡過の部で見事全道1位の成績を収めました。この快挙により全国大会への出場権を獲得し、大会を前に村長を表敬訪問しました。

東士長は、8月22日に新潟県新潟市で開催される「第54回全国消防救助技術大会」に北海道代表として出場します。

東士長は「北海道代表として、他の選手の思いも背負い、大舞台でベストを尽くして全力で楽しんでいます」と力強く抱負を語りました。

鶴居の小中学生が全国・全道大会へ出場

全国大会や全道大会という大きな舞台へ挑む村内の小中学生たちが7月13日に村役場を訪れ、大石村長と田中教育長へ大会での健闘を誓いました。

軟式野球では、鶴居小学校の澁谷琉斗さんが北海道代表「昭和ブルーホークス」の一員として、愛媛県で開催される「全日本学童大会」に出場します。また、鶴居中学校の菱沼翔希さんと澁谷瑛斗さんが所属する「釧路鳥取ベースボールクラブ」が、帯広市で開催される北海道中学校大会へ駒を進めました。

陸上競技では、鶴居中学校の増田咲空さん、佐々木六花さん、中野平さんが旭川市で開催される北海道中学校大会に出場します。みなさん、頑張ってください。



令和8年度戦没者追悼式

8月7日に鶴居市街地の忠魂碑前にて戦没者の遺族来賓、関係者などが参列し、戦没者追悼式が執り行われました。

追悼式では、先の大戦において犠牲となられた方々へ1分間の黙祷を捧げました。また、大石村長の式辞に続き、松井村議会議長や北海道連合遺族会長等から追悼の辞が述べられ、ご遺族、関係者による白菊の献花が行われました。

当日は30度近い気温の晴れ渡った空の下、参列者は亡くなられた方々への追悼とともに、平和への願いを新たにしていました。

鶴居中学校「むらづくり学習」の取組開始

鶴居中学校1年の「総合的な学習の時間」にて、商工会青年部と連携した「むらづくり学習」が新たに始まりました。地元事業者の仕事を通じて、郷土への理解と実践的な探究力を養うことが目的です。

7月13日の第1回授業では、村内で活躍する青年部員が講師として登壇。創業時の苦労や事業にかける熱い想い、またそれぞれの仕事を持つ独自の魅力などが語られ、生徒たちは真剣な眼差しで耳を傾けていました。その後、興味のある業種ごとに分かれたグループワークでは、生徒たちから活発にインタビュー等が行われ、地域の仕事の現場を肌で感じる貴重な機会となりました。

今後は商工会青年部の伴走のもと、グループで独自のビジネスモデル立案に挑戦します。地域の大人たちと中学生が一緒に村の未来を考えるこのプロジェクト。11月の成果報告会を楽しみにしています。



ロゼスパークリングワイン「tsuru to teshika」発売

昨年より販売が開始された弟子屈・鶴居ワイン特区コラボのロゼスパークリングワイン「tsuru to teshika」について、2025年に収穫された両町村の山幸を使用したワインが8月7日より発売となりました。

「tsuru to teshika」は、添加物を使用していないナチュラルワインで、今年は青みかんやフルーツヨーグルトを思わせるアロマに、マーマレードやほのかなスパイスのニュアンスが加わり爽やかな酸が心地よい、辛口の微発泡ロゼに仕上がりました。

村内では、つるぼ一の家にて購入できます。昨年との個性の違いや、温度によって味や香りが変化する様子もお楽しみください。

農業委員会委員の任命について

農業委員の任期満了に伴い、6月11日から12日までを会期として開催された第2回鶴居村議会定例会において、農業委員9名の任命について議会の同意を得た後、村長が7月20日付けで任命しましたので、新たな農業委員をご紹介します。

また、第1回鶴居村農業委員会総会において、委員の互選により会長には手塚信幸氏、会長職務代理者には瀧澤一成氏が選出されました。

農業委員会とは

市町村に設置される執行機関で、農地の売買や貸借に伴う権利移動の許可、農地転用申請の審査・意見提出、農地に関する情報提供、担い手への農地の集積・集約、農業者年金制度の普及などが主な業務となっています。

そのため、農業委員会委員は農業者の立場に立つ地域の代表者として、農地の権利調整や農業経営の合理化・安定化などの農業振興、農地や農業に係る様々な問題への対応など、広範囲にわたって重要な役割を担っています。



水本 梨佳 氏



瀧澤 一成 氏



手塚 信幸 氏



増田 慶一 氏



熊谷 郁子 氏



遠藤 範幸 氏



東 隆行 氏



藤澤 誠 氏



塩越 克哉 氏